



第16回トウヒ祭（スウェーデン公園・6月20日）

広報

とうべつ

7
1999
7月1日発行
No.550

花が咲き誇る美しい街

その街には 花を愛し 育てる優しい人たちが暮らす

各家庭の花の楽しみ方も変わってきたようです。

車から自転車に乗り替えて市街地を回って見ると、道路に面した場所に花を飾っている家庭が昨年にも増して増えているのに気付きます。

「庭」といえば、従来からオノ「などの松類やシャクナゲなどの低木が植えられ、その庭木や堀に囲まれた一角に植え込み式の花壇があるのが一般的で、家族や訪れた人が木や花を観賞できる造りでした。

しかし、町内でもここ数年、花を移動できる様々な容器に寄せ植えし、庭や住宅周辺を思い思いに飾る家庭が目にできます。

その飾り方も、街を行き交う人も見える玄関先や堀さわに置いたり、周りからも良く見えるベランダ周辺に釣り下げるなど、何気なくそばを歩いている人も楽しめるように飾ってくれるのです。

また、飾り方もそれぞれ個性的で、アーチやニティス（格子の仕切り）、真っ白に塗装された木製フェンスなども設置しながら、しゃれた木樽や木製プランターなどに寄せ植えするのです。

このほか、「ベランダガーデン」といって、マンションなどに住んでいて庭や花壇のスペースがない家庭でも、ベランダ一杯に花を飾る家庭も増えつつあります。

一方、商店街の店先や道路を花で飾る運動も定着してきました。市街地中心部の商店主でつくる「本通り振興会」や「中央通り会」で

は、インパチエンスなどを植えた「コンテナ」を店先に置いたり、街灯にハンギングバスケットを取りつけて商店街を彩ります。

また、北栄町地区やスウェーデン大通（太美駅前通り）沿線の植樹マスなどにも、地域の人たちによって植えられたマリーゴールドなどが可憐に咲き誇り、道行く人の心を和ませます。



「花の写真コン」受賞作品

「当別花と緑の町創造推進協議会」が昨年、花のある風景をテーマに公募した写真コンテストで、最優秀賞の金賞を受賞した磯石靖児さん（僧侶・28歳・高岡）の作品。白樺公園から、後方に当別駅舎を入れた作品でタイトルは「黄昏の駅」。



北栄町

弥生

白樺町



出荷額は4年連續全道一

切り花生産も盛んな当別町

郊外を車で走ると切り花栽培の大型ビニールハウスが目につきます。国道275号を北観方向に走行し、対面から轟音地区に入つて間もなくすると、左側に切り花の無人販売所がありました。

中田耕市さんの販売所です。車を止めて中をのぞいてみました。中にはたくさんツボミをつけたユリ科のマルコボーロなどが大きな容器に差し込まれています。わざわざ札幌市から来たと話す主婦らは、「安いのが嬉しいですネ」と花を抱きかえます。隣の選別場では、パートの女性が早朝採花されたユリの選別作業をしています。

中田さんはユリを主に約3・6ha栽培する純花き生産農家で、昨年は約35万本を出荷した町内でも規模が大きい農家。住宅に近い約8aの大型ハウスでは、7月まで出荷が続くユリの花が林立します。



ごみステーションを清潔に分別と安全な収集・処理にも協力を

町は、清潔・衛生的で快適な生活ができるよう、またクリーンで効果的なごみ処理を進めるため、ごみステーションの清潔保持と家庭廃棄物の排出方法などに関する決まり(要綱)を定めました。清潔で美しく、明るく快適に暮らせる町づくりを進めるため、皆さんの一層の協力ををお願いいたします。

ステーションの設置……

(1)町内会が地域の利用者と協議し、町の承認を受けた場合に設置できます。ただし、設置により交通障害などの恐れがある市街地に限り、個別排出が認められます。

ステーションの設置基準……

(1)100mに2~3カ所、または10~20世帯に1カ所。(2)場所は車道に面した空き地、また



「ごみステーション」とは……

家庭ごみの排出・収集のため、収集日の一時に保管する場所です。ですから、収集指定日以外はごみを出してはいけません。

町の責任と義務……

(1)ごみ収集カレンダーを作成し、町内会で設置していただきます。(2)表看板は町が作成し、町内会で設置されています。(3)ごみステーションへの出し方(4)回いや置台などを設置する場合は経費の一部を「町保健衛生会」が助成していますので、事務局(役場保健衛生係)に問い合わせください。(5)収集が安全・円滑・衛生的に行われるよう努め、減量化・再利用化やステーションの清潔保持などに尽力します。(6)町内会や住民の指導を行います。



した「ゴミ収集カレンダー」を全世帯に配布し、収集が適正に行われるよう努めます。

皆さんの責任と義務……

「ゴミ収集カレンダー」に記載されている排出日時や分別方法を守つていただくとともに、減量・再利用、資源化やステーションの清潔保持などに努めてください。

ステーションへの出し方……

ごみは袋などに入れ午前6時から8時まで(冬季は除雪後)に出してください。他地区的ステーションに出してはいけません。

危険なごみの出し方……

収集や処理時に火や爆発などの恐れがあります。

(1)竹串など、先のとがった物はダンボールなどの厚紙に包む。(2)スプレー缶、カセットコンロ用ガスボンベなどは使い切った後、火の気ない所で針やドライバーで穴を開けてガスを抜く。(3)煙草の吸い殻は水をかけ、ガスマイターは完全に使い切る。(4)割れたガラスや食器刃物などは、袋(紙の筒)には入れずにそのまま出す。蓋光管などが付いたままの

産業廃棄物は出せません……

北石狩衛生センター(処理施設)では、25型以上のテレビ、250リットル以上の冷蔵庫、スピニングベッド・マット、ピアノなどは処理できません。購入先に引き取つてもらうか処理業者に依頼してください。業者は役場に問い合わせください。

相談と問い合わせ

役場住民課保健衛生係

ます。

当別町には合計110戸が加入する「当別花卉生産組合」と「西当別花卉生産組合」の2つの生産組合があります。昨年はデルフィニウムやユリなどを中心に約1千万本が全国に出荷され、出荷額では全道一を誇る花の産地でもあります。

今は町内会や学校・企業など100を超える団体やサークルが加盟しているそうです。当別町でも花を愛する人同士のサークルができたり、各種団体が主催のガーデニング講習会が開かれなど、「花いっぱいのまち」を意識した取り組みが広がりつつあります。

みんなではぐくむ花のまち

切り花生産の拡大とともに、町内では花を生活の中に取り入れる人たちが増えました。日本古来の「生け花」のほか、しゃれた籠のカゴや器に思いいのままに生ける「フラワーアレンジメント」も静かなブームになっています。

また、花で飾られた美しい住宅街と言えば恵庭市の恵み野地区が有名ですが、同市では約40年前、

「郷土を花いっぱい・緑いっぱいに」を合い言葉

町内で撮影の写真募集

「町勢要覧」登載用写真

テーマ

- (1)季節感あふれる夏・秋・冬の風景写真。
- (2)イベントや祭りなど活気ある町民参加の催事
- (3)憩いが感じられる町民のくらしや町並み

(フィルム) 極力リバーサルフィルム(カラースライド用)を使用のこと。

(応募方法) ネットとサービス版プリント。

(応募期限) 2月末日

(活用) 町報発行の平成11年度版町勢要覧(広報冊子)に登載し紹介

(詳細) 役場企画課広報広聴係

(☎3~3069)

花の写真コンテスト

ガーデニングなど「花のまち・当別」をイメージする写真。(写真コンのほかガーデニングコンテストも実施します。)

(詳細) 7月初旬に新聞折込のチラシでお知らせ

(主催) 当別花と緑の町創造推進協議会

(事務局)=役場企画課(☎3~3042)

観光写真コンテスト

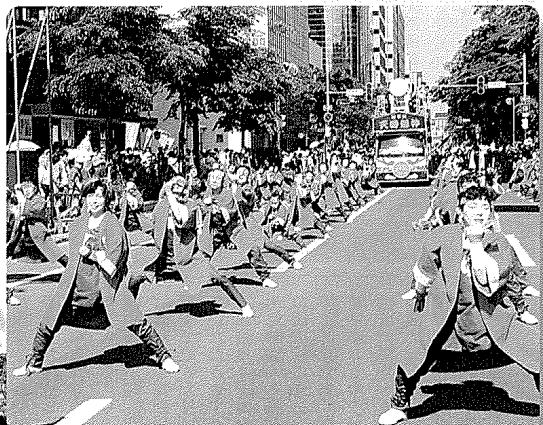
町観光協会主催の「観光写真コンテスト」を実施中です。詳細は本誌12ページをご覧ください。



猛暑も加勢！ ヨサコイに2チーム乱舞

札幌市の北・大通りをステージに、エネルギッシュに舞う「当別YOSAKOIおどり隊=写真右」と、初出場の「夢創造集団Who to me」。5丁目から10丁目までのパレード形式で、先導の地方車からハイテンポのオリジナル曲が大音量で流される中、当別おどり隊は70人、Who to meは34人が乱舞、沿道に陣取った観衆を魅了しました。このほか、それぞれ市内6方所の特設ステージでも熱狂的な踊りを披露しました。

(6月12日)



ゴールへ スタート・ダッシュ

徒競走でスタート・ダッシュする西当別小学校(児童数690名)の1年生。開会式では工藤時恭校長が、「練習の成果を演技・競技・応援で発揮してください。」と激励。この日は好天に恵まれ、グランド外周の父母席ではビデオカメラで我が子を写す帽子姿のお父さんや日傘を差したお母さんらが、たくましく成長した子供たちに声援を送っていました。

(6月6日)

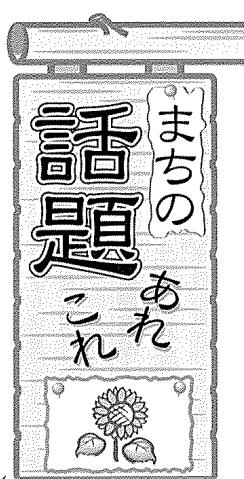
16年間の思い出ありがとう

「山菜を食べて長生きしてください。」と、青山中央小中学校の全校児童・生徒3人が町立長寿園(太美町)を訪れ、フキ 54kgとウド 76kg をプレゼント。山菜はこの日、学校から数キロ離れた二番川で採ったもの。同園から花をプレゼントされたのをきっかけに昭和59年から続く交流で、小学校入学以来参加している梅村朋奈さん(中学3年)は、「閉校のため今年が最後です。たくさんのお礼をありがとうございます。」とお話を述べました。その後、先生が撮ったビデオで山菜採りの様子も紹介しました。

(6月5日)



本場 レクサント市の祭りを再現
ス・ヒルズで「夏至祭」



町や当別・レクサンド都市交流協会などの共催で開かれた「第16回夏至祭」。真夏の到来を喜ぶ北欧の伝統的な祭りで、姉妹都市・レクサンド市との文化交流の一つ。会場のスウェーデン交流センター(ス・ヒルズ)などには約9,000人が訪れました。本場の夏至祭が再現される夏至柱(マイストング)の立ち上げでは、熊谷一紀さん(41歳・弥生)の「オー、ヘイ！」の掛け声で、長さ約10メートルの白樅の柱が12人の市民によって立ち上げられました。この後、夏至柱を囲んでフォークダンスが行われ、スウェーデン人や親子らが踊りの輪を広げました。交流センターの前庭やガラス工房、隣接のスウェーデン公園などでは、スウェーデンガラスや当別産の切り花・鉢花などが販売されたほか、ガラスやフラワーアレンジメントの製作体験、当別高校生などによるコンサートが開かれました。

(6月20日)



マイストングの立ち上げ



コンサート



ガラスの製作体験



フラワーアレンジメントの製作体験

募集 写真を募集しています

99観光写真コンテスト

町観光協会では、当別町の魅力を

を写した次の写真を募集していま

す。

応募資格

どなたでも可

テマ 町内で撮影した風景、

イベントや観光などの写真

賞 最優秀賞(5万円)ほか3賞

応募期限

11月末日

入選発表 本人に一月中通知

審査員 北海道写真協会会員

入選作は2月に開催の「あそ雪

の広場」会場で展示。

応募方法・応募用紙

役場商工労政観光課(2階)、公

民館、西当別コミセン、アラキ写

真館、末田写真館に備え置きのバ

ンフをご覧ください。

詳細 同観光協会事務局(役場

商工労政観光課、☎333-3129)

日時 7月15日(木) 19時~20

セミナー 受講ください

ボランティアについての講演会

当別町ゴルフ大会 7月25

申込期限 7月12日(月)

参加料 3,000円(景品、

懇親会費含む)

ブレー代 自己精算(ビジター

料は1,0,000円)

申込・詳細

参加料を添え町商工会(錦町)、

グリーンヒルCC、田西会館(弥

生)、小島商店(太美町)、当別ゴ

ルフトク練習場(獅子内)へ。

ゴルフ大会を開催します。

愛好者は説いて申し込みく

ださい。

対象 町民と町内通勤・通学者

競技方法 18ホールストローク

プレー(Wペリア・ハンデ戦)

本の貸し出し
便利な利用法

本の貸し出し

●1人3冊まで。貸し出し期間は2週間。

本を借りる
●借りるときは「図書室利用カード」を提示していただきま

す。

カードは、各図書室で発行しており、どちらの図書室でも利用できます。

●公民館図書室の本をコミセン図書室で、また、コミセン図書室の本を公民館図書室で取り寄せることができます。

本の返却

●返却は、公民館・西当別コミセン図書室のどちらでも、都合のよい方に返却できます。

本が“貸し出し中”的とき

●備え付けの「予約申込書」を提出ください。本が返却され次第、連絡します。

読みたい本がないとき

●備え付けの「買ってほしい本の申込書」で要望を受けています。

●札幌市中央図書館・道立図書館へ照会し、取り寄せできます。

本に関することは、気軽に各図書室へ相談を

詳細

●公民館図書室(☎3~2511)、またはコミセン図書室(☎6~3300)へ。



申込期限 7月12日(月)

参加料 3,000円(景品、

懇親会費含む)

ブレー代 自己精算(ビジター

料は1,0,000円)

申込・詳細

参加料を添え町商工会(錦町)、

グリーンヒルCC、田西会館(弥

生)、小島商店(太美町)、当別ゴ

ルフトク練習場(獅子内)へ。

ゴルフ大会を開催します。

愛好者は説いて申し込みく

ださい。

対象 町民と町内通勤・通学者

競技方法 18ホールストローク

プレー(Wペリア・ハンデ戦)

申込期限 7月25日(日) 11時30分

申込・詳細 18ホールストローク

申込

「キツネの場合は、先ず10メートルくらい離れた場所で留まり、時間をかけて自分の存在を無視させる。次は少しずつ巣に近付き、自分の匂いや機材に慣れさせる。野生動物は、人間の存在を無視したときに初めてありのままの姿を見てくれるんです。撮影はそれから……」

と話す山田智一さん。

山田さんは撮影歴15年の動物写真家。道東や道央を中心に、白い息を吐きながら嚴冬の阿寒町・鶴居村に舞うタンチョウヅルや、新緑の中で愛らしく戯れる子ギツネ、羅臼の山々で獲物を狙う精悍なオジロ鷹、エゾ鹿やシマリス・カワセミなどの一瞬の姿を撮り続けます。

少年時代から、動画には無い「瞬間の美」に興味を抱いた山田さんは、高校では写真部に入部。「写真関係の仕事を就きたい」と、卒業後は東京写真大学に学び、カラー製版専門の会社や写真スタジオに8年間勤めたものの、昭和59年

「キツネの場合は、先ず10メートルくらい離れた場所で留まり、時間をかけて自分の存在を無視させる。次は少しずつ巣に近付き、自分の匂いや機材に慣れさせる。野生動物は、人間

にプロのカメラマンとして独立しました。

山田さんは「北海道は野生動物の種類や個体数は多いのですが、いつでも撮影できる訳ではないんです。特にキタキツネは、その年によつて生息数が多かつたり少なかつたりして、チャンスに巡り会わない年もあるんです。」と話します。

可愛いしぐさや兄弟の無邪気な戯れ。親子の情愛を余すところ無く見せてくれるキタキツネは、山田さんが10数年来狙っている被写体の一つ。「子ギツネを作った親子の撮影は、6月ごろがチャンスなんですが、今年はいつもの場所に常通り出でていなかったため断念しました。」と悔しそうに語ります。

1年間の約3分の1は四輪駆動車に寝泊まりする山田さんですが、「満足できる写真はなかなか撮れないもんです。」と、意図した表情や動きをフィルムに収めることの難しさを語ります。



山田 智一さん (42歳)

キタキツネやシマリス、タンチョウヅルやオジロ鷹など、道内の野生生物を撮り続ける動物写真家。昨年8月に栄町の新興住宅団地でブロードタウンに転入。岩内町出身。

現在を活ける

編集後記



人口と世帯数(6月1日)	
人口	20,793 (+14)
男	10,264 (+14)
女	10,529 (0)
世帯数	7,585 (+10)

広報とうべつ 通刊550号
発行 北海道当別町
編集 企画部企画課

■ 先日、私は町内チームの一員として、初めて「よさこいソーラン祭り」に出席しました。前から2番目の位置で踊ることになり、若干プレッシャーを感じていましたが、最初に踊った「」番街」会場で多少緊張感はゆるみ、2会場目の「北・大通り」会場では、気合い十分で踊り始めたんです。きつね縛つたはずの腰ヒモ。しまいにはどうとうズボンが……。

■ 「スルツ——」ちなみに、そういう時に限って、踊っていた会場では、洋ちゃんでおなじみのアナウンサーがいる。某テレビ局が生中継していました。「こんなはずではなかつたのに……」

■ 「食中毒」が心配される季節です。トイレ後、調理前には必ず手を洗うことや、食材は表面のみならず中まで十分加熱することなどを徹底し、家庭から「食中毒」を防ぎましょう。